

学生・若手歯科技工士向け講習会Ⅱ

【講師及び演題】

- 第1部 講師 金子 正行 先生 現状のクラウン・ブリッジ用 作業用模型の精度
- 第2部 講師 荒川 愛子 先生 進化するデジタル技術とこれからの歯科技工士の可能性

【定員】

70名

【受講費】

無 料

【受付申込方法】

学 生：各学校の担当の先生がまとめて、または各個人より、氏名と学校名、学年を明記の上、都技事務局まで FAX (03-3576-5615) にてお申し込み下さい。
都技会員：当日受付（申込不要）

【会場】

フクラシア東京ステーション

●JR[東京駅]／地下鉄[大手町]駅→地下直結・B6出口直結
●JR[東京]駅→日本橋口徒歩1分

←こちらより地図にアクセスしていただけます。

QRコード

駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィッパ大塚香川ビル4F

E-mail : sya-togi@muf.biglobe.ne.jp

令和元年度

学生・若手歯科技工士向け講習会Ⅱ

第1部

現状のクラウン・ブリッジ用 作業用模型の精度

第2部

進化するデジタル技術と これからの歯科技工士の可能性



Tokyo master course Science Lecture

【開催日時】

令和元年 **10月20日** 日
受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

【会場】

フクラシア東京ステーション

【講師】

第1部

金子 正行 先生

演題 現状のクラウン・ブリッジ用 作業用模型の精度

第2部

荒川 愛子 先生

演題 進化するデジタル技術とこれからの歯科技工士の可能性

一般社団法人 東京都歯科技工士会

第1部

従来よりクラウンブリッジの模型製作にはダウエルピン等を一次模型に植立する分割復位式模型が一般的に用いられている。しかし、2000年頃より一次模型を完成されている模型台部に接着材等で固定する貼付法が多く見られるようになった。この方式の最大の利点は従来法に比べ作業の省力・短時間化が図れることである。しかし、その反面精度的には問題点も残されているものもあるようである。

今回、貼付法の中より代表的な数種について従来法と比べどの様な精度であるか、一次模型分割後の寸法精度を中心に比較してみた。その結果、種類（メーカー）によって精度が異なっていることが解った。

今回は、これらの製作法の特性と精度面を理解した上での上手な使用方法などを紹介し、特に技工経験の浅い方などが模型製作に携わる機会が多いと思われる臨床において、少しでもトラブルの軽減につながればと考えています。

■講師略歴

金井 正行

[かない まさゆき]



1981 愛歯技工専門学校卒業 同時に母校に勤務
2019 愛歯技工研究所に移籍
(公社)日本歯科技工士会 認定講師2002～
(一社)日本歯科技工学会 認定士(現 専門歯科技工士)2002～
(一社)日本歯科技工学会 関東支部 学術理事2004～2013
東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 非常勤講師2006～2012

●テーマに関連した発表と執筆

- ・日本歯科技工学会 H14埼玉、H15北海道、H17東京、H18広島、H23東京の各大会にて発表。
- ・東京都、山梨県、千葉県、埼玉県の各歯科技工士会にて講演。

- ・歯科技工別冊「誤差」を埋めるクラウンブリッジの臨床・技工」2013
- ・Q D T「貼付模型法による精度と利便性を再考する」2018, (7,8月号)

第2部

昨今、目覚ましい発展を遂げている、デジタルデンティストリーの波と、どのように付き合っていくべきか、私は技術の進歩とともに、我々の働き方や、臨床現場における活躍の仕方も進化するべきと考えます。

3D!の事業や、新たな教育への取り組みの紹介を交えながら、時代の過渡期にいる歯科技工士に、これからの可能性や伝えたい事をお話します。

CAD/CAMや3Dプリンターを上手に活用しながら、職業としての歯科技工士の役割をどのように果たすのか？これからの新しい働き方、技術の活かし方、少し違った角度からみた未来の歯科技工士の姿に、希望を持って頂けると嬉しいです。

■講師略歴

荒川 愛子

[あらかわ あいこ]



- 日本に約40名しかいない、日本成人矯正歯科学会認定矯正歯科技工士。
- 3Dプリンター検定 合格。

- ・日本歯科大学付属の歯科技工学校を卒業後、矯正歯科クリニックに就職。その後、矯正専門歯科技工所を開業。
- ・独学で矯正技工を極めるも、デジタルデンティストリーの波をいち早く感じ取り、3Dスキャナーと3Dプリンターを使った、矯正歯科のためのビジネスへ方向転換。
- ・2013年、日本で唯一の模型スキャンと歯科模型専用3Dプリンター、株式会社3D! (スリーディー) を起業。
- ・CADや3Dプリンターを独学で研究し、全国で歯科用3DプリンターやCADについての講演等行う他、歯科企業の3Dアプリ開発や歯科大学の研究なども事業として請け負う。
- ・2016年、MITベンチャーフォーラムでの受賞を機に、2017年、八重洲にマウスピース専門のクリニックをプロデュース。
- ・2019年2月、矯正専門の歯科技工士を養成するため、全国で初めてEラーニングを利用した教育機関、日本矯正歯科技工協会を理事長として立ち上げる。

進化するデジタル技術と
これからの歯科技工士の可能性